

旧アルファビゼン跡地利用基本構想

基本理念

「交流・賑わいのある広場」

いつでもみんなが集え、市民が主役となって利用できる
まちづくりの新たな拠点



基本方針

基本方針1 市民に開かれた、にぎわいあるまちづくりの拠点

・利用者として広く備前市民や、市外からの来訪者を想定し、地域に根差したイベントや伝統行事を通じた交流や賑わいのコアとなることはもとより、新たな地域資源を発掘、創造し育む場とします

基本方針2 誰もが利用しやすい施設

・年齢や性別を問わず、利用する全ての人にとって快適で使いやすく、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします

基本方針3 市民の学習活動や地域文化創造の交流拠点となる施設

・市民の皆様が取り組まれている生涯学習や文化・芸術活動の場となることや、備前緑陽高校等の活動と連携したサテライトキャンパス的な利用や、空き、待ち時間の自習スペースなど、施設の利用を通して、子供からお年寄りまで、老若男女を問わず交流を深められる施設整備とします

基本方針4 災害に強く、防災機能を有する施設

・既存の避難場所と連携し、これを補完する機能を有する施設とします

基本方針5 自然や環境と調和した経済的な施設

・周辺環境と有機的に連携した建物・広場のデザインとし、あわせて自然との調和によりエネルギー負荷の低減を図ることで、経済的な施設とします